

第2回 酒々井町学校施設のあり方検討会議 議事概要	
日 時	令和6年10月31日(木)13時30分から15時00分
場 所	酒々井町役場本庁舎3階 会議室
出席委員	11名
欠席委員	なし
事務局職員	酒々井町教育委員会こども課 職員3名
オブザーバー	企画財政課 職員3名
内 容	<p>会議</p> <p>(1)議事</p> <p>【報告事項】</p> <p>① 第1回検討会でのご意見に対する事務局の見解</p> <p>② 児童生徒数の推計による単学級化の予測</p> <p>【審議事項】</p> <p>① 単学級のメリット・デメリット</p> <p>② 単学級化を回避するための対応方策</p> <p>(2)その他</p>

会議
(1)議事
【報告事項①】第1回検討会でのご意見に対する事務局の見解
<p>* 前回の会議において、教育環境に関するアンケート調査について、「方向性の是非を問うような設問は好ましくない」、「質問の目的を明確にしておかないと回答の判断が難しくなる」、「検討会の議論においてアンケート結果は必要か」など、現時点でのアンケート実施に懸念のご意見が多く、事務局内部で調整を行った結果、現在の検討ステップにおいてはアンケートを実施しないこととした。</p> <p>* また、「短期間で、かつ4回の会議により、学校施設整備方針の全体を網羅した議論を行うのは無理がある」というご意見もいただき、この検討会議では「整備方針の策定」を最終目標とせず、今後の学校施設のあり方の判断に必要な、特に重要と思われるテーマについてピックアップしてご意見を頂き、報告書として取りまとめることを目的として進めていきたい。 →質問・意見なし</p>
【報告事項②】児童生徒数の推計による単学級化の予測
<p>* 現状では、2027年から一時的に大室台小で単学級化(35人学級の場合)が生じる可能性があり、2045年頃から大室台小、2054年から酒々井小において定常的に単学級化となる可能性があるということ。</p> <p>* 千葉県として、30人学級化への動きはまだ聞いていない。町として特区扱いで実施するという考えは今のところない。</p> <p>* 外国人の流入により児童生徒数は増え、人数的には解消されるかもしれないが、別対応が必要になり、逆に教職員が足りないという状況になる可能性もある。</p>

### 【審議事項①】単学級のメリット・デメリット

- \* 学校側としては、単学級化のデメリットとして、クラス替えが出来ないと多様な問題に対応しづらい。
- \* 教職員の多忙化に拍車がかかり、それが子どもたちに良い影響を与えないのかなと思う。
- \* 学校運営という視点では、規模が小さくなくても校務量は変わらないので、きめ細かさという視点では学級数というよりは、クラス人数との関係が大きいかなと思う。
- \* 保護者の視点で言うと、学校運営等のことを考えなければ、少人数の方が有難いという思いはある。単学級にこだわって統廃合すると、通学距離が長くなり、共働きの多い保護者の負担にもつながる。
- \* 保護者としてはこれまであった学校が無くなるというのは寂しい。通学距離が長くなる、通学に危ない箇所もあるなどの問題もあるかなと思う。
- \* 子どもにとっては友だちの数が減るなどのデメリットもあるかなと感じる。
- \* 大室台小の2027年から2032年頃は1学年33人、34人という状況であり、単学級になりたての頃は教職員にとっては一番大変な状況になると思う。
- \* 学級数が減ると教職員数も減となるが、それが11月末の時点で翌年度の数を決定しなければならぬという状況であり、特別支援学級の児童数によっても、クラス数が突然、前後する可能性もある。

### 【審議事項②】単学級化を回避するための対応方策

- \* 今は、30年というスパンにおいて、イニシャルコストとして捉えられているが、長寿命化するのか、早い段階で改築するのかという判断も含め、もう少し長いスパンのライフサイクルコストとして捉えることが必要かもしれない。老朽化を放っておくと、子どもたちの安全にも関わってくるため、どう考えるかは難しいところかなと思うが。
- \* 酒々井中のグラウンドに小学校を増築するのは、現状でも複数の部活動が重複して使用している状況の中で、さらにグラウンドを狭くするのはあり得ないと思う。
  - 現状ではグラウンドに建物を建てるのは考えにくいですが、生徒数が半減していく中で、現在の部活動数を維持できるのか、また学校の部活動を地域のクラブに移行する状況も来るのかなと思う。その場合は、必ずしも中学校のグラウンドを使用するのではなく、他の学校やスポーツ施設を利用する状況になるかもしれない。
  - 地域クラブ化については、既に協議会を立ち上げて詳細を検討中である。
- \* 方法論としては、一度に小中一貫校という形でなくても、大室台小を酒々井中に移転、その後の状況を確認しながら酒々井小を移転するというような段階的な整備もあり得るか。
- \* 一般的に小中一貫校とは、小学校、中学校は別組織であり、学校長もそれぞれ在籍しながら、一部施設について共有するという形であり、義務教育学校は9年生の学校として、施設も組織も一本化した形がイメージされる。
- \* その前段階としては、授業の相互乗り入れなど、小中連携という形もあると思う。酒々井町の場合、大室台小と酒々井中が近くにあるため、徐々に慣らしていきながら最終的に小中一貫、または義務教育学校を目指すという形もあり得るか。
- \* これまで、単学級化への対応という視点で見てきたが、一方で施設の老朽化という問題もあり、耐震性が確保されているから安心ということではなく、老朽化により危険度は上がっている状況であり、施設の状況についてもあわせて考えていかなければならない。
- \* 酒々井小のグラウンドの一部に土砂災害警戒区域がかかっており、土砂対策も併せて行う必要があるかなと思う。
- \* 改修はやるべきタイミングで行うということかなと思うが、本来改修を行わなければならない時期からどの位超過しているかなということが見えると分かりやすい。
- \* 解体については必ずしもすぐに行う必要は無く、財政を平準化するために遅らせるとか、地

域資産として活用するという形もあり得るかと思う。

\* 統合した場合の建物や跡地をどうするかということも併せて考える必要がある。もし、転用や民間へ売却するとした場合、どちらが優位かということも判断材料になるか。

\* 次回、コストの資料が出るかと思うが、そもそも財政的に実現可能性はあるのか。

→ 現状の敷地状況等も含め、現実的なところも併せて考える必要があるということかと思う。

\* 統合を急がなくても学区調整については考えないのか。

→ 学区編成により一時的にバランスはとれるかもしれないが、一方で施設老朽化の問題もあり、通学圏の問題や施設の状況等も視野に入れながら考えられると良いか。

### (3) その他

\* 第1回の議事概要については、町のホームページで公開することを了承頂きたい。

\* 次回の検討会は、12月中旬以降で調整させて頂きたい。